

平成22年度各会計予算が可決されました！

◆平成22年度会計別予算規模◆

区分	平成22年度 当初予算額①	平成21年度 当初予算額②	増減額 ①－②
一般会計(A)	178億2000万円	163億1000万円	15億1000万円
特別会計(B)	139億996万6千円	131億6171万4千円	7億4825万2千円
国民健康保険	74億4698万5千円	72億1148万2千円	2億3550万3千円
老人保健	146万7千円	1653万4千円	-1506万7千円
後期高齢者医療	3億9372万円	2億9168万2千円	1億203万8千円
介護保険	28億5856万3千円	26億8006万7千円	1億7849万6千円
学校給食センター事業	7億2241万6千円	7億3651万円	-1409万4千円
下水道事業	7億4251万円	7億4452万1千円	-201万1千円
水道事業会計	17億4430万5千円	14億8091万8千円	2億6338万7千円
合計(A)+(B)	317億2996万6千円	294億7171万4千円	22億5825万2千円

討論！平成22年度八街市一般会計予算 賛成か、反対か！

反対

新年度予算案は、子どもたちの医療費助成の拡大などの施策も盛り込まれているものの、生活悪化に苦しむ市民に手をさしのべる予算案とは言い難いものとなっています。市財政への財源確保にあたって、市民に負担強化を求めています。市長の交際費・報酬は聖域化されたままであり、また市長が進める徴収強化による税収向上にも限界があり、市民への懇切丁寧な相談会に重点をおくことを求めます。区画整理事業は、経済活性化どころか税収も見込めない状況です。経済の活性化が求められている中で、農業・商工予算の配分は、予算総額のわずか2.4%にとどまり、まちづくりでは、大関調整池周辺の冠水解消のための予算が確保されておられません。民生費では、高齢者対策や生活保護行政の充実のほか、児童クラブの定員オーバーや保育園の待機児童に対する施策を国の補助制度を利用して取り入れるべきです。教育の問題では、不登校対策や就学援助費の充実に努めるべきです。最後に国保・介護保険では、公費投入は必然・不可欠であります。財政が厳しい中でも、市民の暮らし最優先の市政運営を求め、反対するものです。



賛成

本市の財政状況は、大変厳しい状況が続いていますが、新年度においても、歳入面においては、各基金からの繰り入れ等により財源不足に対応しております。また、歳出面においては、全般にわたる経費の節減合理化や既存の制度・施策の見直しに努めた上で、各経費について全てゼロベースでの見直しを図り、生み出した財源を各事業に重点的・効果的に配分いたしました。具体的には、八街駅北側地区土地区画整理事業の推進、市道114・116・210号線交差点改良事業の着手、消費生活センターの開設、住宅耐震診断費の補助等を行い、また児童医療費の助成対象者を小学校6年生まで拡大するほか、女性特有のがん検診の一部無料化の継続、前立腺がん検診の開始、子ども手当の予算化を行いました。その他、学力向上推進員の配置、スポーツプラザテニスコート夜間照明設置、かわらめき古墳測量調査の予算化を行いました。また笹引・八街東小学校校舎改築、八街中学校等の耐震補強を繰越事業として行います。このように、限られた財源の中でもバランスのとれた施策が随所に見られるので、長谷川市長の今後の手腕の発揮を期待して賛成いたします。

補正予算

◆議案第13号

平成21年度八街市一般会計補正予算について
既定の予算に5億9千55万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を185億8千605万8千円とするものです。

◎歳出の主なもの

- ・実住小学校屋内運動場耐震補強事業 2億722万6千円
- ・中央公民館空調設備及び廊下床改修事業 6千159万2千円
- ・市営住宅改修事業 1千255万5千円

◆議案第16号

平成21年度八街市後期高齢者医療特別会計補正予算について
既定の予算に2千241万円を増額し、歳入歳出予算の総額を3億1千993万9千円とするものです。歳入については、

後期高齢者医療保険料2千492万6千円を増額するのが主なものです。歳出については、後期高齢者医療広域連合納付金2千241万円を増額するものです。